

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 4年 5月 12日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 福島県いわき市小名浜字元分15番地 氏 名 株式会社フレッシュまるいち 代表取締役 岡 寛孝 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0246-54-2101	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社フレッシュまるいち 豊橋工場
事業場の所在地	愛知県豊川市小坂井町道地8
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	09 食料品製造業
② 事業の規模	資本金 100百万円
③ 従業員数	40人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>                     graph LR                         A[冷凍原料] --&gt; B[製造工程]                         B --&gt; C[工程廃水]                         B --&gt; D[廃水処理施設]                         C --&gt; D                         D --&gt; E[汚泥]                         E --&gt; F[脱水ケーキ]                         F --&gt; G[委託肥料化]                         D --&gt; H[廃プラスチック(ビニール類)]                         H --&gt; I[委託焼却処理]                         I --&gt; J[埋立て]                     </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項																	
(管理体制図)																	
<table border="0"><tr><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">工場長</td><td style="padding: 0 20px;">(総括責任者)</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td><td>年1回以上開催</td></tr><tr><td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">産業廃棄物管理事務局</td><td>産廃処理計画立案</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>計画進捗管理</td></tr></table>				工場長	(総括責任者)					{	年1回以上開催	産業廃棄物管理事務局		産廃処理計画立案			計画進捗管理
工場長	(総括責任者)																
		{	年1回以上開催														
産業廃棄物管理事務局			産廃処理計画立案														
			計画進捗管理														
業務課技術担当- 産業廃棄物処理責任者 製造課長- 産業廃棄物処理に関する社内教育責任者																	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																	
① 現状	<b>【前年度(令和3年度)実績】</b>		別紙のとおり														
	産業廃棄物の種類																
	排 出 量	t	t														
	(これまでに実施した取組)  廃水処理施設の適正管理 使用水の生産原単位当りの削減																
②計画	<b>【目標】</b>																
	産業廃棄物の種類																
	排 出 量	t	t														
	(今後実施する予定の取組)  原材料の包材の簡素化 原材料、副資材の見直し検討																
産業廃棄物の分別に関する事項																	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 一般廃棄物に廃プラ類等が混入しないよう周知徹底																
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)																

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	<b>【目標】</b>	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（3年度）実績】</b>						
	産業廃棄物の種類	汚泥 (有機汚泥)	廃プラスチック類 (ビニール類)	動植物性残差 (数の子、蛸)	廃プラスチック類 (発泡スチロール)		
	排出量	2,741t	27.9t	34.5t	0.7t		
	(これまでに実施した取組)						
②計画	<b>【目標】</b>						
	産業廃棄物の種類	汚泥 (有機汚泥)	廃プラスチック類 (ビニール類)	動植物性残差 (数の子、蛸)	廃プラスチック類 (発泡スチロール)		
	排出量	2,945t	30t	35t	0.8t		
	(今後実施する予定の取組)						

別紙

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度（      年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組)					



別紙

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（3年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥 (有機汚泥)					
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	2,741t					
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥 (有機汚泥)					
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	2,780t					
	(今後実施する予定の取組)						

別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（    年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状		【前年度（3年度）実績】					
		産業廃棄物の種類	汚泥 (有機汚泥)	廃プラスチック類 (ビニール類)	動植物性残差 (数の子、蛸)	廃プラスチック類 (発泡スチロール)	混合廃棄物 (金属くず・廃プラ類)
全処理委託量		154t	27.9t	34.5t	0.7t	0.37t	0.83t
優良認定処理業者への 処理委託量			27.9t	34.5t	0.7t	0.37t	0.83t
再生利用業者への処理委託量		154t					
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
(これまでに実施した取組)							

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (廃水処理汚泥)	廃プラスチック類 (ビニール類)	動植物性残差 (数の子、蛸)	廃プラスチック類 (発泡スチロール)	
	全処理委託量	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量	t				
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	(今後実施する予定の取組)					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び 金属くず (蛍光灯)					
	全処理委託量	0.11t					
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	0.11t					
	認定熱回収業者への処理委託 量						
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (廃水処理汚泥)	廃プラスチック類 (ビニール類)	動植物性残差 (数の子、蛸)	廃プラスチック類 (発泡スチロール)	
	全処理委託量	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量	t				
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	(今後実施する予定の取組)					